

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	社会の理解		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	一年生		学期及び曜時限	後期	教室名	402
担 当 教 員	萩原 恭子	実務経験と その関連資格	社会福祉士/障害児施設にて勤務			
《授業科目における学習内容》 本講義では、住んでいる地域を基盤とした利用者の生活とその継続的な支援についての基礎的知識と、社会保障の制度や施策について基礎的な知識を身につけることを目的とする。前半の学期(2021年後期)では、次の3点について学ぶ。 ①人間の生活と社会との関わり、自助・互助・共助・公助の関係について理解する。 ②利用者の生活を地域で支えるために、地域共生社会の考え方と地域包括ケアシステムの仕組みと、実現するための方法や施策を理解する。 ③社会保障制度の基本的な考え方と仕組みを理解する。そのうえで、日本における社会保障の現状と課題をとらえていく。						
《成績評価の方法と基準》 ①素点 定期試験、小テスト等の得点 70% ②出席評価 20% ③平常評価 レポート、授業態度、ノート等 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 中央法規出版 介護福祉士養成講座社会の理解。福祉法令集。						
《授業外における学習方法》 社会の現在と変化を知るために、新聞等で社会福祉に関する事項を読む。その中から関心を持った内容について自分なりの考察を行い、クラスでプレゼンテーションを行い、情報を共有する。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	人間の生活を幅広くとらえる		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	人間と社会を多面的に捉える視点について理解する。センの潜在能力について、フランクルの3つの価値について学び、利用者の生活を理解することにつなげる				
第2回	授業を通じての到達目標	生活の基本機能とは何か ライフスタイルの変化		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	多様な生活の捉え方があることを理解する。家族機能の変化、生活と働き方の変化について理解する。日本の少子高齢化における課題を理解する。				
第3回	授業を通じての到達目標	家族の機能と役割について学ぶ		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	家族の定義、家族と世帯の変容、家族の多様な機能を理解する。				
第4回	授業を通じての到達目標	社会と組織の機能と役割、地域と地域社会、地域社会における生活支援について学ぶ		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	社会と組織の概念を学び、機能と役割を理解する。地域の生活の継続において自助、互助、共助、公助の重要性を理解。福祉ミックスの考え方、ソーシャル・サポート・ネットワークについて理解する。				
第5回	授業を通じての到達目標	「社会と生活のしくみ」のまとめ		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	第一章のまとめと演習				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	地域福祉の発展について学ぶ		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	地域福祉の成り立ちと取り組みについて理解する。社会福祉協議会について、地域福祉計画について理解する。災害時の地域社会での対応について、事例を通して考える。			
第7回	授業を通じての到達目標	地域共生社会とは		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	地域共生社会と少子高齢化、人口減少問題との関係を理解する。社会的排除ではなく社会的包摂をめざし、多文化共生社会を目指すという理念を理解する。実現に向けた取り組みを学ぶ。			
第8回	授業を通じての到達目標	地域包括ケアとは		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	地域包括ケアという考え方が出てきた背景とその理念を理解。地域包括ケアシステムにおいて、介護福祉士として、どのような活動が期待されているか理解する。			
第9回	授業を通じての到達目標	「地域共生社会の実現に向けた制度や施策」のまとめ		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	第二章のまとめと演習			
第10回	授業を通じての到達目標	社会保障の基本的な考え方について		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	私たちの生活と社会保障制度の関係、その必要性を理解。制度や種類を知る。目的と機能を学ぶ			
第11回	授業を通じての到達目標	日本の社会保障制度の発達		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	日本の社会保障制度の発達について学ぶ。社会経済状況と社会保障制度の関係を理解。社会保障改革の方向性を知る。			
第12回	授業を通じての到達目標	日本の社会保障制度のしくみ		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	給付と負担について学ぶ。社会保障制度の種類について体系的に学ぶ。それぞれの社会保障制度の概要を学ぶ。			
第13回	授業を通じての到達目標	現代社会と社会保障制度		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	少子高齢化によって社会保障制度がどのような影響を受けるか。日本の財政問題と社会保障について学び、給付と負担の関係の理解を深め、持続可能な社会保障制度について考える。			
第14回	授業を通じての到達目標	「社会保障制度」のまとめ		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	第三章のまとめと演習			
第15回	授業を通じての到達目標	社会の理解Iのまとめ		最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	教科書の指定部分と併せて関連科目の教科書も熟読しておくこと
	各コマにおける授業予定	社会の理解Iの復習と演習			

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	介護実習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	96 (3) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時間	後期 10月	教室名	実習施設
担当教員	三輪 香織	実務経験とその関連資格	介護福祉士取得後12年施設介護訪問介護の実務経験後介護教員 その他施設研修事業部担当 技能実習指導員 初任者研修・実務者研修講師等担当			
《授業科目における学習内容》						
学校で学んだ理論や方法を施設において体験し、個々の利用者に合わせた日常生活の介護の応用能力を養う。						
《成績評価の方法と基準》						
実習評価表・実習日誌記録物:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習、実習と記録 滋慶教育科学研究所						
《授業外における学習方法》						
今まで学んだ授業内容の復習及び自己学習を自ら行う。						
《履修に当たっての留意点》						
介護福祉士についての職業理解ができ、必要な知識や技術を身につけることができるよう、意欲的に取り組む。利用者の自助におけるニーズと介護の機能ならびに施設職員の一般的な役割について学ぶ。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	介護実習 I の流れ、達成すべき目標について理解できる。	最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・ 介護実習、実習と 記録 滋慶教育 科学研究所	使用教材の指定部分を 事前に読んでおくこと。 事前学習、復習をすること。	
		各コマ における 授業予定	介護実習 I の流れと目標について			
第2回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	現場で求められる介護福祉士像を把握し、自分の課題について考えることができる。	最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・ 介護実習、実習と 記録 滋慶教育 科学研究所	使用教材の指定部分を 事前に読んでおくこと。 事前学習、復習をすること。	
		各コマ における 授業予定	求められる介護福祉士像			
第3回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	利用者の「できること」に目を向けることの大切さについて理解できる。	最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・ 介護実習、実習と 記録 滋慶教育 科学研究所	使用教材の指定部分を 事前に読んでおくこと。 事前学習、復習をすること。	
		各コマ における 授業予定	ICFの視点			
第4回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	様々なコミュニケーションの方法について学ぶことができる。	最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・ 介護実習、実習と 記録 滋慶教育 科学研究所	使用教材の指定部分を 事前に読んでおくこと。 事前学習、復習をすること。	
		各コマ における 授業予定	コミュニケーションについて			
第5回	実習形式	授業を 通じての 到達目標	一人ひとりに合わせたコミュニケーション方法について理解できる。	最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・ 介護実習、実習と 記録 滋慶教育 科学研究所	使用教材の指定部分を 事前に読んでおくこと。 事前学習、復習をすること。	
		各コマ における 授業予定	コミュニケーションについて			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	個別支援を尊重した自立支援のありかたを理解し、その人らしさを引き出す支援について学ぶことができる。	最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・ 介護実習、実習と 記録 滋慶教育 科学研究所	使用教材の指定部分を事前に読んでおくこと。 事前学習、復習をすること。
		各コマにおける授業予定	個別ケア、その人らしさを支える支援について		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	記録や情報収集用紙、観察、コミュニケーションを通して情報を収集する方法について理解できる。	最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・ 介護実習、実習と 記録 滋慶教育 科学研究所	使用教材の指定部分を事前に読んでおくこと。 事前学習、復習をすること。
		各コマにおける授業予定	情報収集について		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	利用者の生活史を理解し、尊敬の念をもち、コミュニケーションを行うことの重要性について学ぶことができる。	最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・ 介護実習、実習と 記録 滋慶教育 科学研究所	使用教材の指定部分を事前に読んでおくこと。 事前学習、復習をすること。
		各コマにおける授業予定	生活史からみえてくる情報について		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	老化に伴う変化や障害が日常生活に及ぼす影響を理解することができる。	最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・ 介護実習、実習と 記録 滋慶教育 科学研究所	使用教材の指定部分を事前に読んでおくこと。 事前学習、復習をすること。
		各コマにおける授業予定	日常生活の諸問題について		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	安全対策、事故防止の方法が分かる。残存能力を活かし、日常生活能力向上のための援助方法について考えることができる。	最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・ 介護実習、実習と 記録 滋慶教育 科学研究所	使用教材の指定部分を事前に読んでおくこと。 事前学習、復習をすること。
		各コマにおける授業予定	安心安全を考慮し、残存機能を活かした日常生活の自立への援助方法を学ぶ。		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	老いの受容、生き甲斐、性、自己実現について考えることができる。施設における日常生活の自立(QOL)について考えることができる。	最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・ 介護実習、実習と 記録 滋慶教育 科学研究所	使用教材の指定部分を事前に読んでおくこと。 事前学習、復習をすること。
		各コマにおける授業予定	対象者のQOLについて		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	行事やレクリエーションの主な内容や参加者にもたらす効果について理解することができる。	最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・ 介護実習、実習と 記録 滋慶教育 科学研究所	使用教材の指定部分を事前に読んでおくこと。 事前学習、復習をすること。
		各コマにおける授業予定	行事やレクリエーションについて		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	介護者の役割と企画、運営、評価方法について学ぶことができる。	最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・ 介護実習、実習と 記録 滋慶教育 科学研究所	使用教材の指定部分を事前に読んでおくこと。 事前学習、復習をすること。
		各コマにおける授業予定	レクリエーションの企画、運営、評価方法について		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	チームの一員としての介護福祉士の役割、多職種の役割、チームで働くことについて考え、多職種について理解することができる。	最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・ 介護実習、実習と 記録 滋慶教育 科学研究所	使用教材の指定部分を事前に読んでおくこと。 事前学習、復習をすること。
		各コマにおける授業予定	多職種連携、チームで働くことについて		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	カンファレンスの内容、各専門職、利用者、家族の視点について学ぶことができる。	最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・ 介護実習、実習と 記録 滋慶教育 科学研究所	使用教材の指定部分を事前に読んでおくこと。 事前学習、復習をすること。
		各コマにおける授業予定	カンファレンスについて		

学 科	介護福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	介護実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	376 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	1・2年生		学期及び曜時限	通年 2月・6月	教室名	実習施設
担 当 教 員	三輪 香織	実務経験とその関連資格	介護福祉士取得後12年施設介護訪問介護の実務経験後介護教員 その他施設研修事業部担当 技能実習指導員 初任者研修・実務者研修講師等担当			
《授業科目における学習内容》						
学校で学んだ理論や方法を施設実習でⅡ－①、②と展開し体験して、個々の利用者に合わせた日常生活の介護の応用能力を養う						
《成績評価の方法と基準》						
実習評価表:50% 実習日誌記録物:50%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所						
《授業外における学習方法》						
全ての教科の授業内容が関連し、施設での総合的、応用的な知識、技術の実践を行う。そのため、今まで学んだ内容の復習及び事前学習を自ら行うことを求めている。						
《履修に当たっての留意点》						
介護過程の授業との関連性から、介護計画立案、実施、評価を行います。授業内容を理解し、利用者個別の介護計画の立案に向けて取り組んでいくこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	利用者の個別性を尊重した自立支援のあり方を理解し、その人らしさを引き出すことができる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。	
		各コマにおける授業予定	個別ケア、自立支援について、その人らしさ			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	行事やレクリエーション等の意義を理解できている	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。	
		各コマにおける授業予定	行事やレクリエーション等の意義を学ぶ			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	参加者の様子、介護者の関わりを観察し、情報把握、収集ができる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。	
		各コマにおける授業予定	参加者の様子、介護者の関わりを観察する			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	準備、実施、評価等介護者の役割について理解する	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。	
		各コマにおける授業予定	レクリエーションを企画、運営し、評価を行う			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	老人福祉法制定後の介護に関連する施策の概要を理解することができる。	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。	
		各コマにおける授業予定	介護保険法に至る中での、日本の介護福祉の変化のありようについて理解し、今日の介護について知る。			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標 介護福祉士としての一連の介護過程の展開を実践することができる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	介護過程の展開についての復習		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標 情報収集し、アセスメントができる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	介護過程の情報収集、アセスメントについて		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標 生活課題の明確化・立案ができる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	生活課題の明確化・立案		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標 介護計画に基づき、実施ができる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	介護計画の理解、計画の実施		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標 実施したことを評価・修正できる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	介護計画の実施後の評価、修正、再アセスメント		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標 多職種協働や関係機関との連携を通じたチームの一員として介護を遂行することができる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	多職種連携、チームケアについて		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標 変則勤務における情報の共有がおこなえる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	変則勤務(早, 遅, 夜間)を理解する 情報共有の方法について知る		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標 利用者の継続的な観察の重要性について理解できる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	24時間ケアを提供することの意味、継続性について		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標 介護福祉士を目指すものとして専門性のあり方を理解できる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	ICFの視点、求められる介護福祉士像		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標 利用者の「できる活動」を見出し、「する活動」へと支援することができる	教科書:実習と記録 滋慶教育科学研究所	・教科書の指定部分を事前に読んでおく。 ・授業終了時に示す課題を実施しておく。
	各コマにおける授業予定	ICFの視点、求められる介護福祉士像		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	コンピューター		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期	後期	教室名	pc視聴覚室
担当教員	久安 歩	実務経験と その関連資格	高等学校教諭一種免許状(情報)			
《授業科目における学習内容》						
コンピュータ自体の操作の習熟をはかることはもちろん、ソフトウェア間の連携、コンピュータネットワーク環境の適切な利用ができることに重点を置いて実施する。これにより、在学中ならびに卒業後の情報処理スキルの向上を図る。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% 提出物 20% 態度・発表 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
FOM出版 わかるとできるMicrosoft Word・Excel・PowerPoint						
《授業外における学習方法》						
自宅にあるPCを使つての復習等。						
《履修に当たつての留意点》						
Microsoft Officeの基本的な操作方法を覚える。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	ワードの応用的な操作ができる	よくわかる Word Excel PowerPoint	PCを使い復習	
	各コマにおける授業予定		既存の文書内容を変更できるようになる			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	複雑な書式の文書が作成できる	よくわかる Word Excel PowerPoint	PCを使い復習	
	各コマにおける授業予定		段組みを利用した複雑な文書作成			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	写真や画像の編集ができる	よくわかる Word Excel PowerPoint	PCを使い復習	
	各コマにおける授業予定		画像のトリミング、コントラスト変更、回転やアート効果など			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	インターネットからの情報収集の仕方。写真などの保存ができる	よくわかる Word Excel PowerPoint	PCを使い復習	
	各コマにおける授業予定		素材提供サイトから画像素材の保存方法、文書への挿入方法など			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	ヘッダー・フッターの挿入、編集ができる	よくわかる Word Excel PowerPoint	PCを使い復習	
	各コマにおける授業予定		ヘッダー・フッターの挿入、編集の仕方を覚える			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	エクセルの応用的な操作ができる	よくわかる Word Excel PowerPoint	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	応用的な関数。四捨五入、切り上げ、切り捨てなどを覚える		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	実用的な関数を使うことができる	よくわかる Word Excel PowerPoint	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	日付の計算。条件で判断する関数を覚える		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用的な書式を設定できる	よくわかる Word Excel PowerPoint	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	条件付き書式、入力規則の設定、コメントの挿入の仕方を覚える		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	スマートアートを使うことができる	よくわかる Word Excel PowerPoint	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	スマートアートや図形を使って鮮やかなブックの作成方法を覚える		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	ワード、エクセルのまとめ練習問題	よくわかる Word Excel PowerPoint	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	エクセル・ワードでのまとめ。練習問題など		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	パワーポイントの応用的な操作ができる	よくわかる Word Excel PowerPoint	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	スライドに必要な素材を収集方法を覚える		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	スライドに動画や音楽を挿入できる	よくわかる Word Excel PowerPoint	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	事前に用意した動画、ビデオ、音楽を組み込んだスライド作成		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用的なアニメーションを使うことができる	よくわかる Word Excel PowerPoint	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	図形や画像にアニメーションを設定し、自由に動かすことができる		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーション作成	よくわかる Word Excel PowerPoint	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	課題にそった情報収集とスライドの作成		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	Microsoft Officeへの理解をさらに深め、使いこなすことができる	よくわかる Word Excel PowerPoint	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	まとめと試験対策		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	介護総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	通年 月1限	教室名	401
担 当 教 員	三輪 香織	実務経験と その関連資格	介護福祉士取得後12年施設介護訪問介護の実務経験後介護教員 その他施設研修事業部担当 技能実習指導員 初任者研修・実務者研修講師等担当			
《授業科目における学習内容》						
実習に向けて、実習の目的や意義、実習生としての心得やマナー、又実習記録の書き方や実習における利用者等とのコミュニケーションの方法を学び、記録の整理や振り返りをする。						
《成績評価の方法と基準》						
介護実習時の態度、姿勢 10% 実習記録20% 利用者の介護過程の展開、流れが実践できる70%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
①介護総合演習 メヂカルフレンド社8巻・②よくわかる介護記録の書き方 メヂカルフレンド社・③ 実習と記録 滋慶教育研究所						
《授業外における学習方法》						
介護実習要綱熟読						
《履修に当たっての留意点》						
介護福祉施設の概要を掴む、施設の特徴の理解をする。実習に合わせて事前指導～実習中指導～事後指導を展開						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習の意義を理解することができるようになる。	①の教科書		
		各コマにおける授業予定	介護実習について 介護実習を行う福祉施設、事業			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習施設について知ることができる。	①の教科書		
		各コマにおける授業予定	① 介護実習について 区分について 実習Ⅰ・Ⅱ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習施設について知ることができる。	①の教科書		
		各コマにおける授業予定	② 介護実習について 区分について 実習Ⅰ・Ⅱ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習の事前準備について理解することができる	①の教科書	介護実習要綱熟読	
		各コマにおける授業予定	実習前指導 介護実習の進め方 実習施設オリエンテーション 実習先決める			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習の事前準備について理解することができる(実習Ⅰー①)	①の教科書	介護実習要綱熟読	
		各コマにおける授業予定	実習前指導 介護実習の進め方 実習施設オリエンテーション			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習の事前準備について理解することができる(実習 I-①)	介護実習要綱	介護実習要綱熟読
		各コマにおける授業予定	実習前指導 介護実習の進め方 実習施設オリエンテーション		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習の事前準備について理解することができる(実習 I-①)	介護実習要綱	
		各コマにおける授業予定	介護実習の進め方 実習施設オリエンテーション 交通手段確認		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習 I-①の理解を確認していく	介護実習要綱 葉書き	
		各コマにおける授業予定	介護実習の振り返り お礼状準備		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習目標の立てる意義、実習記録の必要性を理解することができるようになる	①～③の教科書	
		各コマにおける授業予定	実習目標の考え方 実習記録について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護現場に応じた生活支援技術の確認	①の教科書	
		各コマにおける授業予定	生活支援技術について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習施設について知ることができる。	①の教科書	
		各コマにおける授業予定	実習施設の特徴、実習 I-②について 利用者とのかかわり		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習施設について知ることができる。	①の教科書	
		各コマにおける授業予定	実習施設の特徴、実習 I-②について 利用者とのかかわり		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習 I-②について 実習先を決める	①の教科書	
		各コマにおける授業予定	実習前指導 介護実習の進め方 実習施設オリエンテーション		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開を通じての学び、利用者の理解を知ることができるようになる	①の教科書	
		各コマにおける授業予定	介護過程について ①		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開を通じての学び、利用者の理解を知ることができるようになる	①～③の教科書	
		各コマにおける授業予定	介護過程について ②		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	介護総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年 月1限	教室名	401
担 当 教 員	三輪 香織	実務経験と その関連資格	介護福祉士取得後12年施設介護訪問介護の実務経験後介護教員 その他施設研修事業部担当 技能実習指導員 初任者研修・実務者研修講師等担当			
《授業科目における学習内容》						
実習に向けて、実習の目的や意義、実習生としての心得やマナー、又実習記録の書き方や実習における利用者等とのコミュニケーションの方法を学び、記録の整理や振り返りをする。						
《成績評価の方法と基準》						
介護実習時の態度、姿勢 10% 実習記録20% 利用者の介護過程の展開、流れが実践できる70%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
①介護総合演習 メヂカルフレンド社8巻・②よくわかる介護記録の書き方 メヂカルフレンド社・③ 実習と記録 滋慶教育研究所						
《授業外における学習方法》						
介護実習要綱熟読						
《履修に当たっての留意点》						
介護福祉施設の概要を掴む、施設の特徴の理解をする。実習に合わせて事前指導～実習中指導～事後指導を展開						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習の最終指導	①の教科書		
	各コマにおける授業予定		実習前指導 実習Ⅰ－②に向けて準備			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習の振り返りをして、目標を持つことの大切さを理解することができるようになる	①の教科書		
	各コマにおける授業予定		実習の振り返り お礼の葉書き作成			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習施設について知ることができる。	①の教科書		
	各コマにおける授業予定		実習施設の特徴、実習Ⅰ－③について 利用者とのかかわり			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習施設について知ることができる。	①の教科書		
	各コマにおける授業予定		実習施設の特徴、実習Ⅰ－③について 利用者とのかかわり			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習Ⅰ－③について 実習先を決める	介護実習要綱		
	各コマにおける授業予定		実習前指導 介護実習の進め方 実習施設オリエンテーション			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習時の確認をする	介護実習要綱	
		各コマにおける授業予定	実習前指導 介護実習の進め方 実習施設オリエンテーション		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習時の確認をする	介護実習要綱	
		各コマにおける授業予定	実習前指導 介護実習の進め方 実習施設オリエンテーション		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習を通して、介護現場での介護福祉士と多職種の連携を理解していくことができるようになる	①の教科書	
		各コマにおける授業予定	実習の振り返り お礼の葉書き作成		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職として、自立を尊重しながら支援することを学べる	①の教科書	
		各コマにおける授業予定	介護福祉士としての自立支援の役割について		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	リスクマネジメントを理解して、事故防止の取り組みが理解できるようになる	①の教科書	
		各コマにおける授業予定	事故防止とリスクマネジメントについて		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	尊厳を支えるケアを理解をすることができるようになる	①の教科書	
		各コマにおける授業予定	尊厳・人権・倫理についての理解		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習報告会の流れを学び、発表ができるようにしていく	①の教科書	
		各コマにおける授業予定	実習報告会について		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習を振り返り課題を明確にすることができるようになる	①の教科書	
		各コマにおける授業予定	振り返りによる整理について		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	1年時の実習を終えての振り返り、次回に向けての課題をまとめる		
		各コマにおける授業予定	実習 I - ①～③の報告会 準備		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習で何を感じたのか、情報共有することができ、次回に活かせることができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I - ①～③の報告会		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	障害の理解		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	1学年		学期及び曜時間	後期	教室名	402教室
担当教員	菊本智泰	実務経験とその関連資格	社会福祉士 障がい者施設勤務 サービス管理責任者 介護職員初任者研修講師			
《授業科目における学習内容》						
障害者児を取り巻く環境と法整備の状況や変遷等の理解。 多岐にわたる障害者児の心身機能、環境や関わり方と介護福祉士として行う支援への活用法。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:70% 2. 出席状況:20% 3. 授業(演習含む)態度:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座「障害の理解」(中央法規出版) 最新 介護福祉全書「障害の理解」(メヂカルフレンド社) その他必要に応じて講義内で紹介						
《授業外における学習方法》						
講義にて取り扱う教科書内容の事前確認、福祉に関する報道等の情報把握、その他講義内にて伝達						
《履修に当たっての留意点》						
講義や福祉に関して不明なこと、疑問に感じたことは質問して下さい。 講義、演習において皆さんに意見を求めることがありますので、積極的な発言を期待します。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	今後の授業の展開を理解し、障害について、現時点での自身の捉え方、考え方を持つことができる。	教科書		
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、障害(者児)とは			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害種別について自分の考えを発言できることに加え、定義、内容を理解する。	教科書	障害種別の把握	
		各コマにおける授業予定	障害種別、定義について考え、共有する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	国内外における障害の概念や捉え方を理解し、変遷について説明できる。	教科書、 補装具支給事務ガイドブック	補装具等を事前に調べる	
		各コマにおける授業予定	障害の概念と理解			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	法整備の変遷、現行法令の概要が理解できる	教科書、 障害福祉サービスの利用について(冊子)	現行法令の把握	
		各コマにおける授業予定	障害に関する法的理解と変遷			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害種別ごとに有効なコミュニケーション方法の概要が理解できる。	教科書、 障害福祉サービスの利用について(冊子)	障害種別ごとの特性把握	
		各コマにおける授業予定	障害状態に応じた関わり方の概要			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体障害の特性や等級、状態像を理解できる。	教科書	障害特性の把握
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:身体障害について①(基本的理解)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体障害者児の生活等の状況を理解し、必要な支援について理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:身体障害について②(実態と支援)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的障害の特性や状態像を理解できる。	教科書	障害特性の把握
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:知的障害について①(基本的理解)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的障害者児の生活等の状況を理解し、必要な支援について理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:知的障害について②(実態と支援)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害の特性や状態像を理解できる。	教科書	障害特性の把握
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:精神障害について①(基本的理解)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害者児の生活等の状況を理解し、必要な支援について理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:精神障害について②(実態と支援)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害の特性、障害福祉における難病について理解できる。	教科書	障害特性の把握
		各コマにおける授業予定	難病及び高次脳機能障害について(基本的理解から実態と支援)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者児が利用できるサービスや関連する支援の概要を説明できる。	教科書	障害福祉サービスの概要把握
		各コマにおける授業予定	障害者児支援と障害福祉サービスの概要		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	バリアフリー等の環境整備の重要性を理解し、有効性の説明ができる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害状態に応じた生活環境の概要		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期における授業内容を理解し、試験問題に対して適切に解答できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	今までの授業の振り返りと試験		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	人間と尊厳と自立		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時間	前期 火2限	教室名	402
担当教員	萩原 恭子	実務経験とその関連資格	社会福祉士として、知的障がい者施設勤務10年 介護実習指導者			
《授業科目における学習内容》						
1年の前期であり、学生自体も自分の自立を意識していない状況にあるため、まず自己覚知から他者を知ること意識した授業を行っていく。グループワークを通して、他者理解を深め考察していく展開とする。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% レポート 20% グループワークの中の態度・発表 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉養成講座人間の理解1中央法規出版 参考図書:人間の理解(メヂカルフレンド社)						
《授業外における学習方法》						
教科書の演習の予習・復習(授業で範囲指定)						
《履修に当たっての留意点》						
演習時の学習態度・意欲						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の尊厳を福祉のもつ意義から考えることができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	人間の尊厳について個々で考えてみる。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 授業内容について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の尊厳と自立が人間の幸せに深く関わっていることを理解できるようになる。	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。	
		各コマにおける授業予定	人間の尊厳と自立 人間を理解する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士としての倫理観を学び、個人の尊厳、基本的人権について基礎知識を身につけることができるようになる	参考:メヂカルフレンド社 プリント配布p8~16	教科書の指定範囲を読んてくる。	
		各コマにおける授業予定	社会福祉を考える 人権思想から尊厳を考える			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	法律からの尊厳を知ることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。	
		各コマにおける授業予定	障害者基本法 介護保険について			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	社会福祉領域での人権、福祉理念を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。	
		各コマにおける授業予定	人権・福祉理念の変換について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	人権思想がどのような経緯で誕生したか理解できるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。
		各コマにおける授業予定	戦後の新たな福祉のあり方について考える p50の演習		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の尊厳、人権.権利擁護を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。
		各コマにおける授業予定	人権尊重と権利擁護		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の尊厳と自立が生活支援においてどのように活かされているか学ぶことができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。
		各コマにおける授業予定	生活を通して人間の尊厳と自立・自律を考える		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通して尊厳と自立を考える、他者の理解を深めることが出来るようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。
		各コマにおける授業予定	振り返り 演習 (p77～78)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護を必要とする人々の自立支援の理解をすることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。
		各コマにおける授業予定	介護における自立支援		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	尊厳を持って介護を必要とする人への関わり方を学べ介護福祉士の役割を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。
		各コマにおける授業予定	介護の尊厳について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における自立支援を学び又国際生活機能分類の特徴を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。
		各コマにおける授業予定	自立支援とICF		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護場面において尊厳の保持がどう行われているか事例から学ぶことができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。
		各コマにおける授業予定	介護における尊厳の保持		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	利用者の生活理解をし、支援することが、生きる意欲につながることを知ることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。
		各コマにおける授業予定	事例を通して自己決定について考える		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	尊厳と自立を社会福祉を通し、理解できたか確認することができる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んてくる。
		各コマにおける授業予定	振り返りとまとめ、試験対策をする		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護発達と老化の理解		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	発達と老化の理解 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時間	前期 木1限目	教室名	402
担当教員	川端 良幸	実務経験と その関連資格	柔道整復師 理学療法士 准看護師			
《授業科目における学習内容》						
人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会変化および老化が生活に及ぼす影響について理解しライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎的知識を学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
試験評価 80% 出席評価 10% レポート10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 編集 介護福祉士養成講座編集委員会						
《授業外における学習方法》						
解剖学と生理学の知識をつけておくのが望ましい、こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習する事						
《履修に当たっての留意点》						
介護を学ぶ上においての基礎知識の一つであるので、板書をしっかりノートに書き込んでおく事						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	スキヤモンの発達曲線を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	人間の成長と発達の基礎的知識			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達理論と発達課題を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	人間の発達段階と発達課題			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体的機能の成長と発達を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	人間の発達段階と発達課題			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理的機能の発達を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	人間の発達段階と発達課題			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会的機能の発達を理解できるようになる	介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
		各コマにおける授業予定	人間の発達段階と発達課題			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期の定義と老化を理解できるようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老年期の特徴と発達課題		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期の発達課題を理解できるようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老年期の特徴と発達課題		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期をめぐる今日的課題を理解できるようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老年期の特徴と発達課題		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう身体的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう身体的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう心理的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう心理的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう社会的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう社会的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	テストによって理解度を確認し、知識の定着を図る	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	まとめ・前期試験		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護発達と老化の理解		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	発達と老化の理解 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時間	前期 木1限目	教室名	402
担当教員	川端 良幸	実務経験と その関連資格	柔道整復師 理学療法士 准看護師			
《授業科目における学習内容》						
人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会変化および老化が生活に及ぼす影響]について理解ライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎的知識を学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
試験評価 80% 出席評価 10% レポート10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 編集 介護福祉士養成講座編集委員会						
《授業外における学習方法》						
解剖学と生理学の知識をつけておくのが望ましい、こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習する事						
《履修に当たっての留意点》						
介護を学ぶ上においての基礎知識の一つであるので、板書をしっかりノートに書き込んでおく事						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	スキヤモンの発達曲線を理解できるようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	人間の成長と発達の基礎的知識			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達理論と発達課題を理解できるようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	人間の発達段階と発達課題			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体的機能の成長と発達を理解できるようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	人間の発達段階と発達課題			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理的機能の発達を理解できるようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	人間の発達段階と発達課題			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会的機能の発達を理解できるようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	人間の発達段階と発達課題			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期の定義と老化を理解できるようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老年期の特徴と発達課題	介護福祉士養成講座編集委員会	
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期の発達課題を理解できるようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老年期の特徴と発達課題	介護福祉士養成講座編集委員会	
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期をめぐる今日的課題を理解できるようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老年期の特徴と発達課題	介護福祉士養成講座編集委員会	
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう身体的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活	介護福祉士養成講座編集委員会	
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう身体的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活	介護福祉士養成講座編集委員会	
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう心理的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活	介護福祉士養成講座編集委員会	
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう心理的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活	介護福祉士養成講座編集委員会	
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう社会的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活	介護福祉士養成講座編集委員会	
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう社会的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活	介護福祉士養成講座編集委員会	
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	テストによって理解度を確認し、知識の定着を図る	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	まとめ・前期試験	介護福祉士養成講座編集委員会	

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	こころとからだのしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 火曜2限		
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			
《授業科目における学習内容》						
からだの基本的なしくみの説明、こころがからだに及ぼす影響について学ぶ。また、生活の障害はどのようなメカニズムで生じるのか、それにどのように対応するのかを学び、学生が根拠をもって生活援助の妥当性について説明することができる。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:最新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) 参考:からだのしくみ事典(成美堂出版)						
《授業外における学習方法》						
授業で学んだ内容をノート等にまとめ、生活援助技術など他科目と関連づけて学習できるよう復習しておく						
《履修に当たっての留意点》						
精神的・身体的・社会的な健康を説明したうえで、利用者の健康状態を判断する基準、そして介護福祉士として利用者の生活の困難さを測る基準となる知識をしっかりと説明していきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	こころとからだのしくみについて必要性を説明できる こころのしくみについて説明できる		・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	こころとからだのしくみの講義オリエンテーション こころのしくみ、健康とは何か、マズローの基本的欲求について理解する				
第2回	授業を通じての到達目標	こころのしくみについて、マズローの欲求段階説、学習とは、記憶とはを説明できる		・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	こころのしくみ、人間の基本的欲求について、介護現場でどう生かすことができるのか、学習とは、条件付けと観察学習について、短期記憶、長期記憶について理解する				
第3回	授業を通じての到達目標	こころのしくみ、意欲と動機付け、代表的な適応機制について説明できる		・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	適応のしくみ、適応障害、適応機制、ライチャードによる高齢者の人格の分類について理解する				
第4回	授業を通じての到達目標	介護の根拠となる人体の構造や機能について 人体の骨格、身体各部、筋肉の名称について説明できる		・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	人体の骨格の名称、身体各部の名称、筋肉の名称について理解する				
第5回	授業を通じての到達目標	身体各部の役割を説明できる		・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	細胞のはたらき、遺伝、脳と神経、自律神経の働きについて理解する				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚器について説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器、外皮の各部の名称と役割について理解する			
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	口腔器、呼吸のしくみについて説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	口腔、歯、唾液、咽頭、喉頭、声帯、肺、気管支各部の名称と役割について呼吸のしくみについて 人体各部の名称を理解する			
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の解剖や大循環・小循環のメカニズムについて説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	心臓の解剖や大循環・小循環のメカニズムや血管、血液のしくみについて理解する			
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	リンパ・免疫・アレルギーについて解剖や生理的機能を説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	・リンパ ・免疫 ・アレルギーについてや生体防御システム、ワクチンのしくみについて理解する			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器官について構造や働きを説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	口腔より肛門までの消化器についての構造や働きを理解する			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化腺について(肝臓脾臓膵臓)の解剖や生理的機能を説明することができる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	肝臓、胆嚢、脾臓、膵臓の構造、はたらき、各部の消化腺やホルモンのはたらき、糖尿病について理解する			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿の分泌・排泄に関する臓器の解剖や生理的機能および生殖器についての解剖や生理的機能、内分泌について説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	尿の分泌・排泄に関する臓器の解剖や生理的機能、生殖器の解剖や生理的機能、内分泌ホルモンについて理解する			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の生理的作用、骨格、筋肉の名称、はたらき、関節との関係について説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	骨の役割、筋肉との関係、内臓筋のはたらき、関節の動き、可動域について理解する			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	生命の維持と恒常性のしくみについて、介護福祉職に必要な薬の知識を説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	ホメオスタシスとは、バイタルサインとはや高齢者によく使われる薬、高齢者に薬の副作用が多い理由、注意が必要な薬について理解する			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活支援のために必要な、人間のこころのしくみやからだの解剖生理的機能、メカニズムについて説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	前期講義の振り返り			

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	こころとからだのしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			
《授業科目における学習内容》						
からだの基本的なしくみの理解、こころとからだに及ぼす影響について学ぶ。また、生活の障害はどのようなメカニズムで生じるのか、それにどのように対応するのかを学び、学生が根拠をもって生活援助の妥当性について説明することができる。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:最新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) 参考:からだのしくみ事典(成美堂出版)						
《授業外における学習方法》						
授業で学んだ内容をノート等にまとめ、生活援助技術など他科目と関連づけて学習できるよう復習しておく						
《履修に当たっての留意点》						
精神的・身体的・社会的な健康を理解したうえで、利用者の健康状態を判断する基準、そして介護福祉士として利用者の生活の困難さを測る基準となる知識をしっかりと理解していきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	人体の構造・機能について振り返りを行い、説明できる		・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	1年前期のからだのしくみについての振り返り講義 人体各部の名称と役割(内臓、骨、関節、など)を理解する				
第2回	授業を通じての到達目標	人体の構造・機能について振り返りを行い、説明できる		・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	1年前期の体のしくみについての振り返り講義 内臓のしくみを理解する。				
第3回	授業を通じての到達目標	人間に必要な不可欠な栄養素とそのはたらきについて説明できる		・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	第5章 食事に関連したこころとからだのしくみの講義 第1節 摂食・嚥下に関わる解剖生理を説明できる 食事の種類について理解する				
第4回	授業を通じての到達目標	心身の機能低下が食事に及ぼす影響について説明できる		・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	第5章 食事に関連したこころとからだのしくみの講義 第2節 加齢や疾病による心身の機能低下が食事にどのような影響を及ぼすか理解する				
第5回	授業を通じての到達目標	食事動作に影響する要因の内容を説明できる		・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	第5章 食事に関連したこころとからだのしくみの講義 第2節 心身の機能低下の具体的な内容を理解する				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 食事における緊急性を伴う異常について学び、医療職との連携の重要性について説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・ところとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	第5章 食事に関連したところとからだのしくみの講義 第3節 変化の気づきと対応 食事での必要な観察事項について理解する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 食事から排泄までの流れを再確認し、排便のしくみについて説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・ところとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	第7章 排泄に関連したしくみの講義 第1節 排泄に必要な行為を理解する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 泌尿器の解剖生理や排泄に必要な行為、排尿のしくみを説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・ところとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	第7章 排泄に関連したしくみの講義 第1節 泌尿器の解剖生理について振り返りを行い、排泄に必要な行為、排尿のしくみについて理解できる		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 心身の機能低下が排泄に及ぼす影響について説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・ところとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	第7章 排泄に関連したしくみの講義 第2節 排泄障害の種類と特徴を理解する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 変化の気づきと対応について説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・ところとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	第7章 排泄に関連したしくみの講義 第3節 排泄の観察方法とポイントを理解し、排泄状態の観察・記録・報告の重要性を学び、理解する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 睡眠のしくみについて説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・ところとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	第8章 休息・睡眠に関連したところとからだのしくみの講義 第1節 睡眠を引き起こすしくみについて、良質な睡眠のための環境条件や生活習慣について理解する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響について説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・ところとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	第8章 睡眠に関連したしくみの講義 第2節 加齢による睡眠に及ぼす影響について理解する 睡眠障害の種類と特徴について理解する		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 睡眠状態を観察のポイント、変化の気づきと対応を説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・ところとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	第8章 睡眠に関連したしくみの講義 第3節 睡眠状態の観察ポイント、不眠・過眠への対応について理解する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 前期講義で学んだ内容を振り返り、生活活動別に人の生活を支援する方法を根拠を持って述べることができる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・ところとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	前期講義まとめ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 ところとからだのしくみの国家試験の過去問に取り組むことによって自分の課題を説明できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・ところとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
	各コマにおける授業予定	ところとからだのしくみの国家試験過去問に取り組む、出題傾向と対策について理解する。		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	人間関係とコミュニケーション		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 限	教室名	401
担 当 教 員	今村 裕紀子	実務経験と その関連資格	社会福祉学修士 社会福祉士 中学校・高等学校 公民科 教員免許状			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>「人間の理解」分野にあたる「人間の尊厳と自立」、「人間関係とコミュニケーション」、「介護実践におけるチームマネジメント」は、介護福祉士としての根幹である倫理基盤、コミュニケーションの基礎、チームで働く能力の基礎を培う科目である。このうち、人間関係とコミュニケーションでは、コミュニケーションの基礎とそれをもとにしたチームでの実践について学習する。生活支援が主な職務である介護職において利用者との関係づくりは必須であるが、加えてさまざまな専門職とチームで介護を実践するためには介護職のみならず他専門職との連携も重要となる。このようにさまざまな関係づくりに必要なコミュニケーション技法について専門的な知識を得ることで、人間関係のあり方について考察できるようになることを授業の到達点とする。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>試験(70%) 出席(20%) プリント学習・受講態度(10%)を基準とし、総合的に評価する</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 使用教材:「新・介護福祉士養成講座1 人間の理解」(第3章) ○ 授業で必要な内容はプリント等で適宜配布するため、ファイルに綴じるなどして管理すること ○ 参考文献:社会福祉六法 介護福祉用語辞典 						
<p>《授業外における学習方法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年前期に学習した内容と関連して理解すること ○ 信頼できるサイトで確認できるニュースや新聞などで世界・日本・地域社会で起こっている様々な出来事に関心を持っておくこと 						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>介護・子育てについての悩みは誰もが一度は関わることのある身近な課題であるにもかかわらず、家庭内で起こっている出来事であるがゆえに、閉鎖的で表面化しにくいという側面を持っています。福祉職である介護福祉士は容易にこのセンシティブな課題に触れることができる専門職であるがゆえに、安易にとらえてはならない立場にあると言えます。介護福祉士が適切なインテークを行い、課題を重篤化させないようにするにはどのような態度が求められるのかを掴んでください。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 授業オリエンテーション 2. 組織におけるコミュニケーション	10/ PC・プロジェクター	テキスト該当ページを一読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章4節-1 組織の条件とコミュニケーションの特徴 /2 組織における情報の流れ				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 組織において求められるコミュニケーション	10/ PC・プロジェクター	テキスト該当ページを一読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章4節-3 組織において求められるコミュニケーション ○ プレーンストーミング、ティーチングとコーチングの違いについて理解する				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. ヒューマンサービスとしての介護サービス	10/ PC・プロジェクター	テキスト該当ページを一読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章1節-1 ヒューマンサービスとしての介護サービス ○ サービス業の特性とヒューマンサービスの特性を理解する				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 介護現場で求められるチームマネジメント 2. 介護実践におけるチームマネジメントの取り組み	10/ PC・プロジェクター	テキスト該当ページを一読しておくこと	
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章1節-2 介護現場で求められるチームマネジメント 3 介護実践におけるチームマネジメントの取り組み ○ リスクマネジメントとケアマネジメントを理解する ○ チームマネジメントの重要性と人材育成について理解する				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. ケアを展開するためのチームマネジメント(1)	11/ PC・プロジェクター	・今までの学びから介護福祉士の専門性や職務内容をまとめる ・他専門職の専門性や職務内容を調べる	
	各コマにおける授業予定	○ テキスト第3章-2 ケアを展開するためのチームマネジメント ○ 介護福祉士の専門性と他専門職の専門性の以外について考える				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 1. ケアを展開するためのチームマネジメント(2)	○ テキスト第3章-2 ケアを展開するためのチームマネジメント ○ チームでケアをするときのマネジメントの流れと留意点について理解する	11/ PC・プロジェクター	・課題レポートの報告を準備する ・テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定				
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. 介護福祉士のキャリアと求められる実践力	○ テキスト第3章-3 介護福祉職のキャリアと求められる実践力 ○ 初任期・中堅期・ベテラン期それぞれの時期に求められる力について理解する	11/ PC・プロジェクター	テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定				
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. 介護福祉士としてのキャリアデザイン(1)	○ テキスト第3章-2 介護福祉職としてのキャリアデザイン ○ 介護福祉士が延ばすことのできるキャリアの理解を介護福祉士の講演から理解し、自己のキャリアデザインにつなげられる	11/ PC・プロジェクター	テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定				
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 1. 介護福祉士としてのキャリアデザイン(2)	○ テキスト第3章-2 介護福祉職としてのキャリアデザイン ○ 自己のキャリアデザインを明確にする ○ 介護福祉士が延ばすことのできるキャリアの理解と、OJT・OFF-JTがどの段階でどのように開かれているか理解する	12/ PC・プロジェクター レポート学習	・課題レポートの報告を準備する ・テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定				
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. 介護福祉士としてのキャリアデザイン(3)	○ テキスト第3章-2 介護福祉職としてのキャリアデザイン ○ 自己のキャリアデザインを明確にする ○ 自己研鑽の場について実施されている研修についての理解、自分自身に必要な研鑽とは何かをまとめる。	12/ PC・プロジェクター レポート学習	・課題レポートを仕上げる ・テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定				
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. 介護サービスを支えるための組織の構造(1)	○ テキスト第3章-4 介護サービスを支える組織の構造 ○ 組織構造について調べ活動を行う	12/ PC・プロジェクター レポート学習	・課題レポートの報告を準備する ・テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定				
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 1. 介護サービスを支えるための組織の構造(2)	○ テキスト第3章-4 介護サービスを支える組織の機能と役割 ○ 組織構造について調べ活動の報告を行う	12/ PC・プロジェクター レポート学習	・課題レポートを仕上げる ・テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定				
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. 介護サービスを支える組織の管理(1)	○ テキスト第3章-4 介護サービスを支える組織の管理 ○ 委員会活動・労務管理・人材育成・災害や感染症の対策について理解する	1/ PC・プロジェクター	テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定				
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 1. 介護サービスを支える組織の管理(2)	○ テキスト第3章-4 介護サービスを支える組織の管理 ○ 災害や感染症の対策について理解する	1/ PC・プロジェクター	テキスト該当ページを一読しておくこと
	各コマにおける授業予定				
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 テスト対策	○ 前後期を通じた学習の振り返りを行う ○ 試験対策のための国家試験問題を学習する	1/ PC・プロジェクター	・今までの学習で理解が不十分である点をチェックしておくこと
	各コマにおける授業予定				

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	医療的ケア(講義)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			
《授業科目における学習内容》						
医療職との連携のもと医療的ケアを安全・適切に実施できる様に必要な知識・技術を習得出来る						
《成績評価の方法と基準》						
科目終了試験:70% 出席評価点20% 平常評価点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版						
《授業外における学習方法》						
授業における小テストや配布プリント・授業内容の復習をしっかり行い授業に臨む						
《履修に当たっての留意点》						
医療的ケアは利用者に直接的な影響を与えるケア技術である。正しい知識・技術の取得を持って安全な医療的ケアを行える様に介護福祉士を目指す。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医行為とはどういうことか、その法的理解など、介護福祉職等における喀痰吸引制度と「医療的ケア」について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 医療的ケアとは、医行為とは(法的)について理解する			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療、医療の倫理について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	医療の倫理、倫理上の原則、自己決定の権利、個人情報の保護 利用者、家族に対する説明と同意について理解する			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	個人の尊厳と自律について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	個人の尊厳と自律、利用者の尊厳を守り、自律を助ける支援、 利用者、家族の気持ちを理解する			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	喀痰吸引制度(社会福祉士及び介護福祉士法の改正)について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	医療制度とその変換、医療提供のしくみ、家族のケア負担とその解決法、社会福祉士及び介護福祉士法の改正、改正法による喀痰吸引法制度の概要について理解する			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療的ケアと喀痰吸引等の背景、その他の制度について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	喀痰吸引等研修、介護福祉士養成課程における医療的ケアの学習、社会福祉士及び介護福祉士法以外の法制度について理解する			

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	安全に喀痰吸引や経管栄養を提供する重要性を説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	喀痰吸引や経管栄養の安全な実施、リスクマネジメントの考え方と枠組み、ヒヤリハット、アクシデント報告、その書き方について理解する		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	救急蘇生について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	救急蘇生とは、必要性、一時救急救命、救急蘇生、救急蘇生法の実際、AEDについて理解する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	清潔保持と感染予防について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	感染とは、地域集団、施設・組織としての予防策、手洗い・うがいの基本、知識と手順について理解する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職の感染予防について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	介護福祉職の健康管理、ワクチン接種とは・原理と種類、使い捨て手袋やガウン等の使用の必要性、標準予防策について、正しいマスクやエプロンのつけ方を理解する		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	療養環境の清潔、消毒法について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	環境の違いや感染性のある体液、嘔吐・排泄物の扱い、医療廃棄物の処理について理解する		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	感染性廃棄物の処理のしかたについて説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	ビニール袋を使った簡易エプロンの作成、模擬吐物の処理を理解する		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	消毒と滅菌について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	消毒と滅菌の違い、消毒剤の使い方と留意点について理解する		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	健康状態の把握について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	平常状態とは、県呼応上体を知る項目(バイタルサイン)、体温、脈拍、呼吸、血圧について、測定の実施を理解する		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	急変状態について説明できる	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	急変状態とは、急変時の対応と事前準備(報告、連絡文、応急手当、記録)について理解する		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	授業のまとめ、振り返り	最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	今期で学んだ内容を理解する		